# 施策評価調書(5年度実績)

					施策コード I -	1-(1)	
政策体系	l .	子育てしやすい環境づくりの推進	所管部局名福祉保健部		長期総合計画頁	19	
	ひをタ	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ~子育て満足度日本一の実現~	関係部局名	福祉保健部、商工観光労働部、土木建築	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

### 【 I. 主な取り組み】

	1	2	3
取組項目	子どもの育ちを支えるための子育ての支援	子育て支援を担う人材の確保と 質の向上	安心して子育ても仕事もできる環境づくり

# 【Ⅱ. 目標指標】

指標		関連する 取組No.	基準値 5年度			6年度	年度 目標達成度(%)						
	相 <b>惊</b>		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	「子育て満足度日本一」総合順位(位)(本県独自指標 による)	123	H30	5	1	18	63.8%	1					
ii	保育所等待機児童数(人)	123	H30	13	0	0	100.0%	0					
iii	放課後児童クラブ待機児童数(人)	12	H30	117	0	33	71.8%	0					
iv	男性の育児休業取得率(%)	13	H30	6.8	30	27.9	93.0%	国の目標以上 [現状30%(R3)]					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

【 出、 指係による計画】						
評価		理由等	平均評価			
i	著しく不十分	子育て満足度日本一に向けた取組を分かりやすく評価するため、総合的に計画の効果を計る指標として11項目の指標を設定し、4項目で計画策定時の基準値の順位を上回った。「ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある」と答えた母親の割合が基準値から順位を落としたことにより総合順位が下がったことから、子育ての負担感を軽減する取組強化が必要。				
ii	達成	施設整備や保育人材確保などの取組により、待機児童が解消され、目標値を達成した。 (R5年度の実績値は速報値を用いて評価した。)				
iii	著しく不十分	市町村に対し、運営経費の助成、施設整備経費の助成などを実施しているが、待機児童の解消には至っていないため、今後も市町村と連携し、待機     □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
iv	概ね 達成	R4.4からの育児・介護休業法の順次改正やこれまで、国や労使団体と連携し、セミナーや個別相談会、優良企業表彰などにより、男性育休を含めた働き方改革について周知啓発に取り組んでおり、これらの取組により職場における男性育休取得が進んだ。				

## 【IV 指標以外の観点からの評価】

T I A	. 161余以1707既示が507計画』
取組 No.	指標以外の観点からの評価
1	・妊娠届出時からの伴走型相談支援を実施するとともに、妊産婦・子育て世帯への経済的支援を行う市町村に対し助成した。 ・子育て中の父親や企業経営者を対象としたセミナー等による男性の積極的な子育ての推進を通じ、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図った。 (男性向け連続講座2地域、イクボスセミナー2回)・子育で・高齢者世帯住環境整備事業の認知度向上のためPR活動強化を行った結果、176件の利用があった。
2	・保育現場の働き方改革を推進するため、施設長・主幹保育士向けの研修、ICT活用研修を行い、機運の醸成を図った。(施設長・主幹保育士向けそれぞれ3回開催13園参加、ICT研修2回開催6園参加)・保育士等キャリアアップ研修は、保育士等の職務内容等を踏まえた体系的な研修を実施し、専門性の向上を図った。(7回開催、751名修了)
3	・安心して病気のこどもを預けられる環境を整えるため、病児保育を実施する市町村に対し、運営費の助成を行うとともに、国東市における病児保育施設の新規開設に伴う整備費の助成を行った。R3.10から開始した市町村間の相互利用とWEB予約サービスの施設への導入支援を行い、広域化・ICT化を推進した。利用促進のため、子育て世帯向けの無料情報誌に広告記事を掲載した。・企業経営者等を対象としたセミナー・個別相談会やモデル企業へのアドバイザー派遣を行うとともに、男性育休の取得に取り組む企業に対してもアドバイザー派遣を行い、県内企業の働き方改革の取組を支援した。また、優れた成果が認められる企業の表彰等を実施した。

#### 【ひ 施策を構成する主要事業】

<u> </u>	<u>                                      </u>					
取組	事業名(5年度事業)	事務事業評価				
No.	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成果指標の達成率(%)	掲載頁			
	伴走型出産・子育て応援事業	-	12			
	おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業	89.0	12			
	大分にこにこ保育支援事業	96.8	12			
	地域子ども・子育て支援事業	88.8	13			
(1)	放課後児童対策充実事業	102.0	13			
	放課後児童クラブ施設整備事業	92.2	13			
	おおいた子育て応援スクラム事業	82.1	14			
	おおいた子育てパパ応援事業	84.1	14			
	子育て・高齢者世帯住環境整備事業	117.3	14			
	県営住宅子育て環境整備事業	-	15			
2	保育環境向上支援事業	117.4	15			
	保育の資質向上事業	135.0	15			
3	病児保育充実支援事業	103.2	16			
	働き方改革推進事業	100.0	260			

# 【VI. 施策に対する意見·提言】

OR5年度第2回おおいた子ども・子育て県民会議(R6.2) ・子育て支援情報が必要な人にまだ届いていないのではないか。

### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	評価   施策展開の具体的内容					
В	・大分県版子育て支援ポータルサイト「子育てのタネ」の子育て支援情報の充実を図るとともに、SNS等を活用した子育て支援情報の発信強化に取り組む。 ・放課後児童クラブ待機児童の解消に向けた取組を支援するため、引き続き、放課後児童クラブに対して運営費や施設整備経費を助成する。 ・保育人材の確保と職場定着を図るため、保育士試験受験対策講座を開講し、保育補助者や子育て支援員などの保育士資格取得を後押しするとともに、保育施設に対し、ICT機器導入・改修経費や保育支援者の雇い上げ経費を助成する。 ・県で養成した働き方改革アドバイザーを活用し、引き続きセミナー・個別相談等を行い、働き方改革に取り組む企業を支援する。特に、男性の育休取得促進を図るため、男性育休取得数に応じた助成金を交付し、気兼ねなく育休取得ができる職場意識の醸成等を図る。 ・子育てしやすい住環境づくりを推進するため、住宅リフォーム支援についての周知に加え制度を拡充するとともに、子育て世帯向けの県営住宅の整備や改修を行う。					